

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表：平成31年 3月 1日

事業所名 放課後等デイサービス ジャンプステーシ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		運動・学習・個別それぞれで対応できるように部屋を設置している。	
	2 職員の配置数は適切である	○		児童の数に対してマンツーマンで対応できるように配置している。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		部屋と部屋の間には仕切りを入れて集中しやすい環境をつくっている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		朝・夕方で施設内外の掃除を毎日行っている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		定期的に個人面談をし年間計画を話し合っている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		定期的に事業所でお茶会などを開き話し合いの場をつくっている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で	○		ホームページで観覧できるようにしている。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		定期的に他事業所との繋がりをづくり情報を共有している。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		月に2～3回の全体の研修会を開き学びの場をつくっている。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		児童発達支援管理責任者が作成し、朝礼時に全体で共有している。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		児童発達支援管理責任者が作成し、朝礼時に全体で共有している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ガイドラインにのっとり支援を行っている。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		スタッフ・親御様の情報を参考にし支援内容も状況に応じて更新している。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		月に数回運動・言葉チームに分かれて、サービス内容の変化と児童の状況に応じて更新している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成して	○			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認	○		朝礼・中礼・終礼時にその日を行っている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個別活動日誌を日々記録し、支援の振り返りを行っている。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		お子様の状況に応じて変化があった場合は会議を行っている。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	○		相談員と密に情報の共有をしています。	
	22	○		関連機関と情報共有をし支援内容にも変化をつけている。	
	23	○		看護師が常勤として配置しているので医療機関との情報共有などは密に行っている。	
	24	○			
	25	○		契約児童の通っている園・学校とは送迎時など密に情報共有している。	
	26	○			
	27	○		当事業所が研修先として活用してもらっている。	
	28	○		月に一度の施設の無料開放日をつくり地域交流できる場を設けている。また事業所の療育内容などをご家族にもお伝えしてセルフケアも行っている。	
	29	○			
	30	○			
	31	○			
保護者への説明責任等	32	○		児童発達支援管理責任者が契約児童のご家族だけでなく、体験、見学の親御様にも丁寧に説明をしている。保護者様からも同意も得ている。	
	33	○			
	34	○		母子通園での授業参加も定期的に行っている。	
	35	○		定期的に座談会を行って話し合いの場をつくっている。	
	36	○		心理士・相談員が定期的にカウンセリングを行っている。	
	37	○		毎月事業所の便りを配布している。	
	38	○		鍵付きのロッカーに保管している。	
	39	○		利用時は毎回カウンセラーを実施し、内容を記載して情報を共有している。	
	40	○		月に一度の施設の無料開放日をつくり地域交流できる場を設けている。	
非常時等の対応	41	○		看護師による緊急時の対応など社内研修会を行っています。	
	42	○		半年に一度災害時の訓練を行っています。	
	43	○		看護師による緊急時の対応など社内研修会を行っています。情報共有しています。	
	44	○		看護師が食品を管理している。	
	45	○		朝礼時に共有している。	
	46	○		虐待防止委員会を設置している。	
	47	○			身体拘束対象児童がいらないめ行っていない。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。